

きくがわ「防災すごろくづくり」地震編 令和5年度 年間計画

「防災すごろくづくり」から地域力と防災力を育む

菊川町公民館

1 事業のねらい

- 地域住民間に「顔の見える関係」をより一層築きあげ、さらなる支え合い、助け合いの環境を醸成する
- 「災害（主として地震）に強い安心・安全なまち菊川」づくりに寄与する

2 金沢ミライシナリオとの関連



シナリオ 1 古くて新しい心地よいまち
自然と調和した災害に強い
まちをつくる

シナリオ 4 働きがいも生きがいも得ら
れるまち

誰もが学びたいときに
学べる場を用意し学びを支援する



3 SDGsの目標との主な関連



4 内 容

- (1) 「きくがわ土曜講座」を兼ねる（5月・6月・7月・9月・10月）
- (2) 従前の地域安全マップづくり、きくがわ防災すごろくづくり（風水害編）の取り組みによる成果を本事業に活かす（北陸大学経済経営学部 山本 啓一 教授とゼミ生の協力）
- (3) ア 講義を通じて、住民のつながり、気象と地震、地震のメカニズム、避難行動や避難所運営等について学ぶ
イ 活動を通じて、地域住民が、①自宅及び地域の震災リスクを知る、②自宅又は避難所までの安全な経路の確認、③第一次避難所、拠点避難所、防災倉庫、防災資機材、消火栓など地域の防災資源の確認等の機会とする
- (4) ワークショップでの住民の意見交換の成果を「すごろく」マス案に反映するものとする

5 本事業で期待される効果

- 多様な世代が楽しみながら防災すごろくづくり（地震編）に取り組むことで、持続可能な地域力と防災力を高めることができる。
- 単なる地域防災教育という取り組みだけではなく、「人づくり」や「まちづくりの担い手の育成」といった視点を持つことで「これからも住み続けたい安心・安全な菊川」を考える契機とすることができる。
- 地域の方々が「私も地域の大事な一員」であるということにより一層実感することに資する可能性がある。